

事務事業名		老人保健事務費拠出金事務			目標設定日	平成28年3月1日
					部・局	健康福祉部
総合 計画 体系	基本政策	2	支えあい健やかに暮らせる健康長寿のまちづくり		課・室	福祉課
	政策	02	地域医療体制の充実		係	国保医療係
	施策	03	医療保険制度の運用		内線電話	296.304
予算 体系	会計	国民健康保険事業特別会計			実施計画	
	款	5款	老人保健拠出金		未計上	
	項	1項	老人保健拠出金		実施期間	
	目	1目	老人保健事務費拠出金		合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	老人保健被保険者		意図（どのような状態にしたいのか）	社会保険診療報酬支払基金へ事務費を拠出し、老人保健事務を支援する。
	現状・課題	老人保健制度は後期高齢者医療制度の開始により平成19年度で終了しているが、過誤給付等により発生する事務支援のため、社会保険診療報酬支払基金へ事務費を拠出する。			
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	国民健康保険法			
事務事業概要	社会保険診療報酬支払基金へ事務費を拠出し、老人保健事務を支援する。				
平成28年度の活動指標アウトプット	活動内容			活動量	
	老人保健医療給付等にかかる事務費を拠出する。				

事務 イン プツ コスト	項目		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	予算額	当初予算	円		43,000	43,000
補正予算		円				—
合計		円		43,000	43,000	43,000
決算（見込）額 A			円	28,498	43,000	—
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円				
職員数	正規職員	人		0.05	0.05	0.05
	嘱託職員	人				
人件費 B		円		330,550	330,550	330,550
総事業費 A+B		円		359,048	373,550	373,550
市民1人当たりコスト		円		8	8	9

成果指標	アウトカム	平成26年度	平成27年度	平成28年度
老人保健医療給付等	目標	1件	1件	1件
	成果	1件	—件	—
成果指標と目標値の設定理由	目標			
	成果			—

平成28年度の実施方針	縮小して実施	活動量	減らす	コスト	下げる	成果	下げる
	老人保健制度はすでに終了しているが、老人保健事務の発生状況により拠出が必要となるため、社会保険診療報酬支払基金へ事務費を拠出する。						

